

羅針盤

介護福祉士

らしんばん



No.82
 令和3年2月発行
 一般社団法人岡山県介護福祉士会
 〒700-0807
 岡山市北区南方2丁目13-1
 岡山県総合福祉・ボランティア・
 NPO会館「きらめきプラザ」7階
 TEL: 086-222-3125
 URL: <http://www.okayama-kaigo.jp>
 印刷編集協力: 友野印刷



サンタの笑顔で
 みんなもにこにこ
 笑いでコロナを
 ふきとばそー!!



えがお

コロナ禍で今までの様に日常を楽しむことが出来ず、クリスマス会などの行事が中止になる中、ある入居者が立ち上がって下さいました。

その方は、サンタクロースの形の折り紙に職員一人一人の似顔絵を描くように言われ、その折り紙を飾って12月のカレンダーを作られ、そのカレンダーの隅に「サンタの笑顔でみんなもにこにこ笑いでコロナをふきとばそー！」と書かれました。また大晦日にはカレンダーの日付をくじに変え抽選会を開き、くじ引きした入居者様お一人お一人に、サンタクロースの折り紙とおやつがプレゼントされるという大変ユニークな企画を行って下さいました。とても心温まるひとときでした。

有料老人ホームあい愛の郷 早見 潤一

倫理研修

日時 2020年10月15日(木) 13:30~16:00

内容

- ・倫理委員会の概要説明
- ・講義「プロフェッショナルに期待される行動とは
～職業倫理・介護福祉士に期待される行動とは～」
【講師】川崎医療福祉大学 医療福祉学科
講師 岡崎 利治 氏
- ・事例を使っでのディスカッション



岡山県介護福祉士会において、2020年度、倫理委員会を発足。発足にあたり、会員へ周知し、倫理委員会の意義および専門職に必要な職業倫理の重要性について理解を深めるため、第一回目の倫理研修を開催しました。コロナ感染予防の観点から参加者人数を通常の半分としたが、28名の参加がありました。

会長挨拶後、倫理委員会の活動内容を報告し、川崎医療福祉大学でご活躍されている岡崎先生のご講演をいただきました。岡崎先生のご講演の中で印象に残っているお話の一つとして、「職業としてのケアは、それを支える社会的条件や要因などを含んで検討することが必要。さらに相互的な関係であることを強調されながら、圧倒的に『ケアする側の視点』からとらえられてしまうことがほとんど」とのお話があり、改めて介護の仕事について考える機会となりました。自己を振り返り客観的な視点を持って分析できるかが大切であり、倫理綱領は自分を律するものであり、よりどころとなるもの。また、介護福祉士は介護士ではなく、福祉理念が入るもののお話があり、初心に戻ることでできた良い時間をいただきました。

そして、後半は不適切なケアについて考える時間を持ちました。日頃している介護で不適切だとわかりながらもやむを得ず介護していること、一人では解決できないため、いけないと思いながら介護していること、この介護はどうかと悩んでいることなど、用紙に記入してもらいました。倫理について悩み、立ち止まり、これではいけないと思いつつも、改善策を考える時間がなかなか取れない状況の中、次の仕事が待っているという現実。職場で相談しても、解決困難な場合、また視野を広げ職場以外の仲間に相談したいと考えたとき、その一つがこの倫理研修になれば幸いです。

来年度は6月に倫理研修を企画しています。学び多い研修を一緒に作っていきたいと思いますので、これからよろしく願いいたします。
(倫理委員長 三宅真奈美)

参加者の声

- ・基本的なことを学び大変勉強になりました。どんどん勉強する機会を頂きたいです。
- ・介護の現場で働く者として、自分の倫理が当たり前かどうか考えることがあります。同じ職場で働く人と常に話し合い、よりよい支援ができるように(利用者さんが生き生きとした生活)したいです。
- ・利用者さんのためと行っている支援も日々の繰り返しの中で押し付けになっている事柄もあるかもしれないと気づきました。同じ行為を繰り返す日常の支援だからこそ、何故その介護が必要なのか、考え続けることが大切だと考えます。
- ・倫理観は共通ではないことを改めて認識できた。自分自身のふりかえりを日々行っていく。
- ・個人で倫理観は違ってくるので、チームで取り組むときのむずかしさを改めて考えさせられました。
- ・共生ケアやパターンリズムと忙しさにかまけて、その場しのぎのケアをしてしまっている。良い方やスキルに偏らず、その行為に至ったプロセスや思考を大切にしないといけないと改めて学べた。
- ・久しぶりの研修参加でした、よい刺激と気分転換をさせていただきました。ありがとうございました。

介護福祉士災害支援ボランティア研修

日時：2020年11月11日（水）10：00～16：00

テーマ：『災害時の心構え～災害時に介護福祉士としてできること～』

「介護福祉士災害ボランティアの基礎知識」

講師：一般社団法人島根県介護福祉士会 会長 山本 克哉 氏

今回の研修では、島根県介護福祉士会会長の山本氏が実際に熊本の大地震災害において、ボランティアとして復興支援に参加した経験を交えながら、介護福祉士及びボランティアとしてどのような心構えが必要かを学ぶことが出来ました。

参加者は、演習を通して、発災時に何を優先して動かなければならないのか、何を予測し、考えて行動していくのか頭を悩ませながらグループワークに取り組みました。印象的だったのは、“安全とは”という言葉についてです。“安全”などそもそも存在しないものであり、“危険”から危険を除去し、その対策機能が維持



されている特殊な状態が“安全”なのであるということでした。普段私達は、介護現場において、利用者の安全な生活を提供するために尽力しているわけですが、そのために様々な工夫をし、支援しております。この普段からの経験を災害時にも活かせるよう今回のような研修を積み重ねいつでも支援に臨める体制づくりが必要だと切に感じ、取り組んで行きたいと思いました。

岡山県でも今年度、災害支援ボランティアチームを発足しました。チームリーダーの加納氏より一言いただきました。

災害支援ボランティアチームは今年度、本格的に立ち上げることになり、現在、来年度の本格運用を目指しています。

コロナ禍の中、支援の方法や取り組み方など、課題もあるなか、ぜひ、会員の皆様のご協力をよろしく願います。

受講生の声

災害支援ボランティアの内容は色々だと思う。

施設派遣や避難所での活動や行政との連携等。今回はそういった場面での介護福祉士として又はその枠を越えた一人の人間として具体的な動き方や心構えを学ぶことができました。

一般研修会「感染症について」

日時：2020年12月3日（木）
13：30～16：40

テーマ 新型コロナウイルス感染症 ～リスクマネジメント～

「自施設での体験からのリスクマネジメント」

講師：一般社団法人岡山県通所介護事業所協議会 理事 小馬 誠士 氏（株式会社アール・ケア 取締役）

「感染予防対策の演習」

講師：旭川荘厚生専門学院 介護福祉学科 専任教員 田中 いづみ 氏

今年度はコロナの影響で、予定されていた研修も次々と中止しなくてはならない事態となりました。そのようなコロナ禍において、利用者を守るべき立場の介護福祉士として、何か研修をしていかなければならないとの思いがあり、急遽「感染症」についての研修を開催しました。

第1部では、株式会社アール・ケアの小馬様をお招きして、保健所からの「陽性者が出た」との連絡から事が収束するまで、その壮絶であった3日間の流れや対応についてご講演いただきました。私たちの想像をはるかに超えたやり取りがあったことを教えていただき、陽性者が出る前に、マニュアル・対応など事前に準備できることはしておかなければいけないと強く感じました。

また第2部は、「感染予防対策」ということで、コロナというウイルスについて学んだり、日頃行っている感染予防対策が果たして正しくできているだろうか？といった、振り返りの場となりました。講師は旭川荘厚生専門学院の田中先生にお願いし、手指消毒やエプロンの装着の仕方について学びました。わかっているつもりでしたが、手順が違っていたり、上手い出来ないこともありました。間違った対策は、防ぐつもりが逆に広げていくことになるということを変更して認識する機会となりました。

今後も、定期的にこのような研修を行っていかれたらと思います。

（研修委員長 松島）



参加者の声

（自施設での体験からのリスクマネジメント）

- ・感染者の発生により、同時に様々な対応をしていかなければならず、大変なご苦労があったのだと感じた。介護職員一人ひとりが他人事にせず、適切な判断と対応ができること、そして事業所としての体制の整備が急務であると感じた。
- ・感染者が発生したと想定し、考え、準備しておく必要があると痛感した。

（感染予防対策の演習）

- ・基本をしっかりと確認でき、大変勉強になりました。
- ・日頃の消毒法を、今一度見直すいいきっかけとなった。
- ・コロナの時のエプロンの外し方を知らなかったので勉強になりました。いつでもできるように練習が必要だと思いました。
- ・わかっているつもり、したつもり、にならないように習慣化と確認が大切と感じました。



コロナ禍でも 頑張っています



美作地区

「正しく恐れる」というテーマで勉強会をしました。

確かにコロナウイルスはとても恐ろしいですが、ではなぜそんなに恐ろしいのでしょうか？色々と考えられますが、発症前から感染すること、無症状の場合でも感染力があることがあげられます。他にも、人によって症状が異なり重症化する恐れがある。治療法のない未知の感染症であり対策を考え出すとキリがありません。

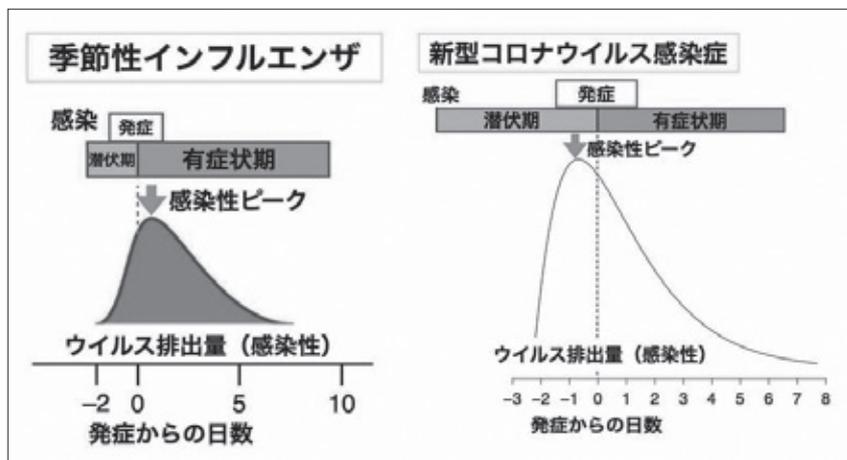
しかし、流行語になった「3密」にあげられているように、8割以上が飛沫感染であることから、密閉せず換気すること、密集や密接を避けて、マスク着用が日常的に行われていれば過度な恐怖心は必要ありません。

マスクの種類にもよりますが、時に介護者は密接を避けられない場合もあります。

飲食店やカラオケ、先日は歯磨き中のクラスターもありました。

この羅針盤が発行される頃には日本でもワクチンが始まっているかもしれませんが。徐々に解明されていく情報を正しく共有して、ソーシャルディスタンス「社会的間隔」を「余裕」と解釈して、ストレスを溜めないように自分自身との間隔や感覚も大事に、気持ちにゆとりをもった行動が求められています。

(匿名希望)



出典元：yahooニュース 新型コロナ マスク着用による感染予防の最新エビデンス

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布	布マスク	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{*2}	80%	90% ^{*2}
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{*2}	60-70% ^{*2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

*2 豊橋技術科学大学による実験結果

●実験 (マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法にもとづいています。)
さまざまな素材のマスクを着用した人顔モデルにミスト生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化、カウントしました。吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用、飛沫の直径は、0.3um(小さな飛沫)から200um(大きな飛沫)まで計算しています。

●結果
吐き出し飛沫量は不織布、布ともに目撃が捕集されます。
吸い込み:不織布マスク着用時、マスクと顔に隙間がある場合でも上気道(鼻から鼻根、鼻根、鼻頭、鼻面)への吸引飛沫量を1/3にすることができます。フェイスシールドにおいては、大きな飛沫(50um以上の水滴)については捕集効果が見込めるが、エアロゾルはほぼ漏れてしまう。

出典元：国立大学法人豊橋技術科学大学PressRelease定例記者会見

利用者様がテレビを観ながら「今頃みんなマスクしとるなあ」って言っているのを聞いて、社会の変化を感じているんだなあ。その割に職員がマスクをしてもコミュニケーションに全く変化がないので、日頃の信頼関係の証かな？と思っています。

美作地区：福田（グループホーム北山）

コロナが入浴介助を見直す良い機会になりました！

今まで半日でしていたところを、密を避けるため呼び込みを少人数ずつにし、1日かけるようにしました。少人数ずつになったことで広々とし、目も行き届きやすくなりました。以前は職員同士の掛け声が賑やかで、忙しそうにバタバタ動き回り繁雑になっていましたが、それらが改善され、落ち着いた雰囲気が入浴できるようになったと思います。職員からすると時間に追われ業務の中の一つになってしまいがちですが、利用者様には大切な1日の大切な時間です。利用者様が快適な時間を過ごせるようにしたいと思いました。



美作地区：河島（津山広済寮）

美作地区の某グループホームの管理者、介護の日の川柳に応募するも落選！次回はみんなで応募しよう！（匿名希望）

美作地区：河島（津山広済寮）

真庭地区

「コロナなんかには負けないぞ」

コロナ禍で様々な制限があり、利用者様も職員も楽しめる行事を実施出来ない中、何か少しでも楽しいことができないかと、「ゆうあいGO TO EATS」を開催しました。うどんやお好み焼き、ちらし寿司に綿菓子などを用意し、チケットを持って屋台を回っていただきました。

世の中のお店のよう感染対策を行いながらの実施は大変でしたが、屋台は大盛況！

口いっぱい幸せそうに綿菓子を頬張る姿や「お土産買ってえなあ」「おかわりちょうだい。」と度々屋台に来られる利用者様を見て職員もほっこりとした気持ちになり、徐々に楽しい時間を過ごすことが出来ました。





また、午後からは利用者様と一緒におやつ作り。トナカイカップケーキを作りました。男性利用者様も図工の時間のようにおやつ作りを楽しめました。コロナに負けず、これからも利用者様と思い出を作っていきます。



高梁・総社地区**特別養護老人ホーム 吉備高原賀陽荘のコロナ対策**

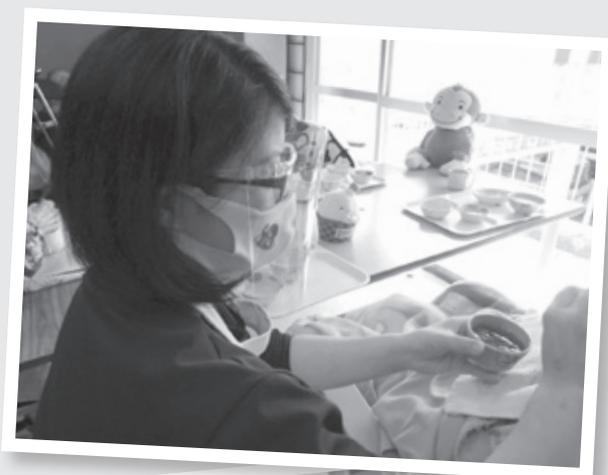
令和2年7月25日（土）から介護職員がフェイスシールドを食事時間と水分補給時に使用しており、医務室もバイタルチェック時には使用しています。

最初は施設からの備品を使用していましたが使い勝手が悪く、職員自ら購入した物を使用していました。最近では眼鏡付きの物を購入してもらい使用しています。慣れないうちは暑いし、視野が狭くなる、利用者からも不思議がられるなどのデメリットもありましたが、最近では日常の光景になっています。

施設の中に三つのグループがあり早い段階から職員の三密を避けるために休憩時間を別々の場所で行ったり、毎月の職員研修も分かれて行うようにしました。デイサービスや玄関には職員手作りのアクリル板を設置しています。面会は家族からの予約を受け付け各グループで曜日を分けて時間制限をもうけて1日に5組限定、2台のタブレットを使用したオンライン面会を行っています。

利用申し込みに関しても、県外からの申し込みにも対応できるようにファックスや郵送での手続きができるようにしています。町内の施設同士の会議はリモート会議を行っています。職員の家族が県外に出張などで関わった場合は2週間休みを取り感染予防対策を徹底しています。今後はコロナの感染状況に応じて対応の緩和も考えています。

コロナの影響で今年度の春の職員旅行や秋の互助会旅行も中止になっていて、一日も早いコロナ終息を願っています。



✉ 県介護福祉士会からのお知らせ

◇ 会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様に、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出ください。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意ください。様式は、ホームページから印刷することができます。または、事務局へご連絡いただければ送付いたします。



◇ 次年度（2021年度）の研修について

現在、次年度に向けて研修の計画を立てております。

2021年度の研修スケジュールと開催要綱を3月頃にお送りする予定です。あわせてホームページにもアップいたしますので、ぜひご覧ください。

皆様の研修へのご参加をお待ちしております。

今年度の研修におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防策へご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年度につきましても、今年度同様、感染予防策を実施し、安全に研修を受講いただけるように実施運営してまいります。

2020年度賛助会員の皆様

(順不同)

医療法人社団新風会 玉島中央病院	社会福祉法人恵風会 特別養護老人ホーム恵風荘
医療法人福嶋医院	社会福祉法人天神会 こうのしま介護老人保健施設
学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	社会福祉法人優風会
学校法人川崎学園 川崎医療短期大学	新日本法規出版株式会社 広島支社
学校法人ベル学園 岡山医療福祉専門学校	中央法規出版株式会社 広島営業所
学校法人美作学園	東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
株式会社リスコ	友野印刷株式会社
社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園	日本福祉大学 岡山オフィス
社会福祉法人岡山博愛会	森脇法律事務所
社会福祉法人薫風会 ぐらしき総合福祉専門学校	リコージャパン株式会社

ご支援ありがとうございます

**2021年度岡山県介護福祉士会
賛助会員募集**

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。資料を送付させていただきます。
岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

青年隊 晴れる家 メンバー募集!!



ハレルヤ 晴れる家



介護福祉士の若い世代が中心となり、介護福祉士のPR活動を行っています。

研修や交流会などの企画、実施も自分たちで行っており、若い世代が職場ではなかなか味わえない経験ができます。また同世代の繋がりを作れる場にもなっており、職場以外にも相談できる仲間ができます。



晴れる家研修、交流会

活動には主に研修や交流会などがあります。今までの取り組みとしては、自分たちの取り組みテーマをプレゼン発表して、参加者に選んでもらう参加型の発表会や介護福祉士の魅力を伝える交流会などに、地域の方々にも参加してもらい一緒に作る調理研修、施設の利用者様に昭和の時代を思い出してもらえようようなカフェの実施など、様々な活動があります。



他県、他団体との交流

若い世代の活動は他県でも行われており、お互いの企画に参加したり、共に企画を考えることができる機会もあります。また介護福祉士会以外の他団体との繋がりもあり、共同で研修会を実施したり、ボランティアスタッフとして協力もしています。職場だけでは実施が難しい企画も、「晴れる家」が協力することで実現できることがあるかもしれません。

介護福祉士の仲間と一緒に
キャリアアップを目指しませんか？

【お問合せ・申込先】

岡山県介護福祉士会 事務局

TEL : 086-222-3125 FAX : 086-222-6780 e-mail : okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp

※電話・FAX・e-mailにて会員番号、お名前、連絡先をお知らせください。

晴れる家よりご連絡いたします。

岡山県介護福祉士会 公式ウェブサイト リニューアルいたします。



初めてのリニューアルにわくわくドキドキ

一般社団法人岡山県介護福祉士会では、昨今のデジタル社会の流れに伴い、より会活動を広く地域社会に向けて情報発信すると共に、最新の情報をリアルタイムに会員の皆様にお伝えすることを目指して、この度、創設から初となるウェブサイトのリニューアルを行います。

これまでのウェブサイトによく閲覧されていたコンテンツ情報はそのままに、デザインやサイトマップも一新して、ターゲットも広く地域の皆様を対象にした情報発信を積極的に行って参ります。スマホ対応等、機能もより充実させ当会の情報に触れやすくできるようにいたします。会長を始め、各委員会の皆様と共に意見を交わしながら制作をして参ります。公開は2021年春を予定しています。どうぞお楽しみに。

ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 河崎 崇史 | 早見 潤一 |
| 吉川 信一 | 内藤 佑弥 |
| 甲加 勇樹 | 岡本 奈々 |
| 池田 紀恵 | 菅原 摂子 |
| 西本 光男 | 河島 友美 |
| 磯田 明枝 | 池田 和輝 |
| 大森 幹人 | 綱嶋 浩子 |
| 池田 和彦 | 岩本 侑太 |